

外来診療案内

外科 外来診療案内

	月	火	水	木	金	土
午前	古元 克好 (副部長)★	村田 徹 (副部長)★	山口 真彦 (部長)★	金光 瑛彰	大江 正士郎 (副部長)★	第1,2 内田 雄一郎 第3,4,5 井ノ口 健太
午後					直腸肛門外来 常勤担当医 (注1)	

※注1…直腸肛門外来(14時～16時)は古元、村田副部長が隔週で担当します。

乳腺外科 外来診療案内

	月	火	水	木	金	土
午後	松谷 崇弘 (副部長)★		吉村 了勇★		松谷 崇弘 (副部長)★	

乳腺外来(月・金)は14時～16時、(水)は13時～15時で当日受付は13時30分までとなります。

◆受付時間◆

午前診 8:00～12:30  
午後診 13:00～16:00

◆予約外来◆

当院では待ち時間短縮のため、★のところについては、予約制を導入しています。  
★…初診・予約のない再診・急患の方も受け付けています。  
(他院からの診療情報提供書をお持ちの患者さんはこの限りではありません)

外来透析の開始について

当院では、外来機能強化を目的に、平成28年7月に外来棟を開設しました。併せて、既存棟の改修工事を引き続き行っております。これまで8床(入院透析のみ)で運用していた、透析センターを平成28年9月より20床に拡張し、外来透析を開始しますのでお知らせいたします。

- 担当医師 川上 享弘
- 透析スケジュール 月・水・金：朝 8:15～/8:30～  
昼 14:45～/15:00～/16:00～  
火・木・土：朝 8:15～/8:30～
- 透析ベッド数 8床→20床(平成28年9月より)
- 治療内容 血液透析(HD)・血液透析濾過(HDF)・血液濾過(HF)・限外濾過(ECUM)・持続血液透析(CHD)・持続的血液濾過(CHF)・血漿交換(PE:DFPP)・持続的血液透析濾過(CHDF)・腹水濾過濃縮再静注療法(CART)・血液吸着療法(リクセル・PMX)・血漿吸着療法(PA:LDL-アフェレシス)

地域医療連携だより 地域医療支援病院 医療法人財団 康生会 武田病院 発行  
京都市下京区塩小路通西洞東入東塩小路町 841-5 TEL: 075-361-1351(代表)

受付時間

月曜日～金曜日 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00  
※日曜日・祝日・祭日・年末年始はお休みさせていただきます。

医療機関専用

TEL (075) 361-1352 (直通)  
FAX (075) 361-1337 (直通)

※地域医療連携室受付時間外につきましては医事部(医療事務)にて対応させていただきます。

TEL (075) 361-1351(代表) FAX (075)-361-1268(医事部専用)

康生会 武田病院

2016年 秋号

地域医療連携室だより



外科特集



外科部長  
山口 真彦

康生会武田病院の外科は地域の先生方のご要望に迅速かつ的確にお答えするため、常に緊急手術のできる二人体制を整え、質の高い外科医療を提供するため、熟練の外科医をそろえ、最新の外科手術を提供いたしております。また、今年6月より乳腺外科が独立し、外科は主要な消化器外科に専念することとなりました。今回は今年1月からの手術内容について報告し、外科および乳腺外科の治療内容を紹介させていただきます。

担当医の紹介



<上段>

(左) 小澤 達也  
(右) 村田 徹 副部長

<下段>

(左) 大江 正士郎 副部長  
(中央) 山口 真彦 部長  
(右) 古元 克好 副部長

理念

- ・思いやりの心
- ・地域社会の信頼
- ・職員相互の信頼

基本方針

- ・ブリッジ・ザ・ギャップス
- ・患者さんの権利尊重
- ・信頼の医療に向けて
- ・地球にやさしい環境づくり

環境方針

- ・省資源・省エネルギーの推進
- ・廃棄物の3R(減らす、再利用、再資源化)の推進
- ・安全性・快適性の推進
- ・環境広報活動の推進

外科

■ 胃癌に対する治療

従来からの開腹での幽門側胃切除や胃全摘は進行胃癌手術として行い、早期胃癌に対しては腹腔鏡を用いた低侵襲手術を行っておりますが、早期胃癌と進行胃癌の境界病変に対しては積極的に腹腔鏡手術を採用し、患者さんの手術侵襲軽減を図っております。

■ 大腸癌に対する手術

通常の大腸癌については早期、進行の別に関わらず、より低侵襲な腹腔鏡手術を行っており、他臓器浸潤や腹水貯留、巨大腫瘍の症例などの特別な病態時のみ開腹手術を行う方針で治療いたしております。

■ 肝胆膵領域癌に対する手術

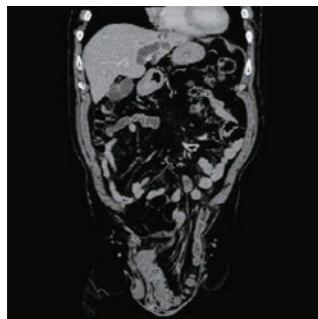
この領域の癌に対しては原則、従来通りの開腹手術を行っております。肝葉切除、膵頭十二指腸切除など日本肝胆膵外科学会が認定する高難度手術も積極的に行い、予後不良なこの領域の癌治療成績向上のため、術前化学療法なども導入しております。

■ 抗癌剤治療

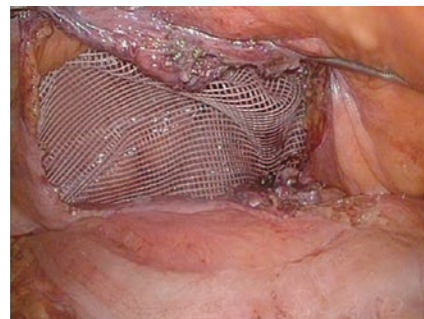
転移、再発、ステージIV症例に対する化学療法や術前化学療法などについては、今年7月よりオープンいたしました新外来棟の化学療法室にて快適な環境のもと最新のレジメンで行っております。

■ 良性疾患に対する腹腔鏡下手術

今や標準術式となった腹腔鏡下胆嚢摘出術をはじめ、急性虫垂炎に対する虫垂切除では原則腹腔鏡下虫垂切除を行い、術後3日での退院を可能といたしております。また、鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニアに対しても腹腔鏡手術を多用し、患者さんのご要望や状態に応じ術式を選択いたしております。また、開腹既往のない腸閉塞などに対しても腹腔鏡を用いて索状物の切除を行い、低侵襲で整容性も考慮した術式を採用しております。



S状結腸が陰嚢に脱出している巨大鼠径ヘルニア



腹腔鏡下に巨大ヘルニア門をメッシュで覆い、腹膜を閉じ終了。

■ 救急疾患に対する対応

消化管穿孔や絞扼性腸閉塞など緊急な対応が不可欠な外科疾患に関しては、緊急手術に対処できるよう24時間、365日、1st call, 2nd callの二人体制を整え、地域の要望に応えるべくご紹介をお待ちいたしております。

手術症例

(2016.1.1 ~ 2016.8.31)

術式	症例数	
胃癌手術	腹腔鏡	3
	開腹	14
大腸癌	腹腔鏡	19
	開腹	11
肝胆膵領域癌	9	
胆石症	腹腔鏡	29
	開腹	10
虫垂炎	腹腔鏡	16
	開腹	5
ヘルニア(鼠径、腹壁)	腹腔鏡	24
	腹腔鏡以外	24
イレウス	腹腔鏡	1
	開腹	6
消化管穿孔	腹腔鏡	2
	開腹	上部
下部		4
乳癌	16	
その他	36	
合計	230	

乳腺外科



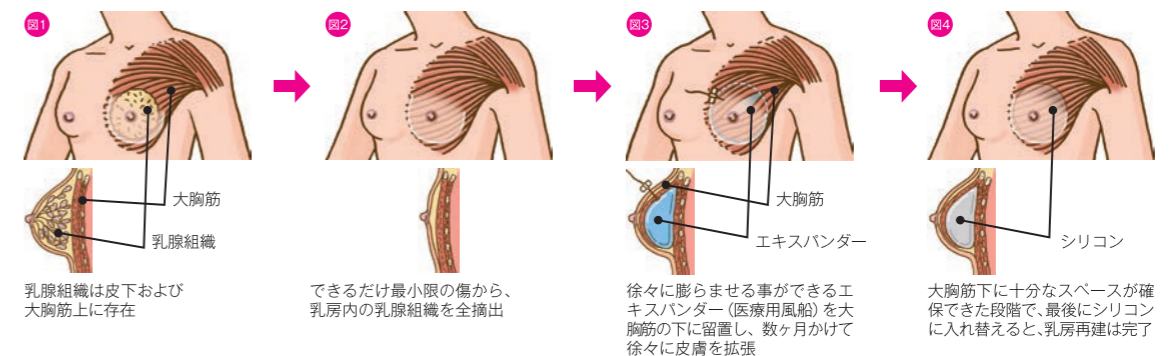
乳腺外科 副部長 松谷 崇弘

当グループにおける乳腺診療部門を統括すべく、2016年6月より康生会武田病院に配属となりました。滋賀で育った私にとって、京都は非常に馴染みのある都市です。ここ京都において地域医療を担っておられる先生方と密に連携をはかりながら、乳腺診療でお役に立てたら幸いです。

全国的に乳癌検診受診率の低さが、社会問題になっています。まずは生存率改善につながる乳癌検診などによる早期発見に努めたいと思います。先生方のお力添えを何卒宜しく願いいたします。

乳癌治療について

2013年7月よりシリコンを用いた乳房再建に対し保険が適用されるようになりました。乳癌の治療と同時に、整容面への治療が保険診療内で完結しやすくなったことの意義は極めて大きいと言えます。この保険適用の開始に伴い、乳房切除+乳房再建という術式を選択される患者さんが増えています(術式の流れはイラスト参照)。私にとっても根治性と整容性のバランスが最大の課題です。この乳房再建治療は、乳腺専門医と形成外科専門医の両者がそろう、限られた認定施設でのみ対応が可能です。当院では、私自身が乳腺専門医かつ形成外科専門医でもあるので、乳房のトータルケアが実現可能です。



外来新棟

2016年7月より外来棟がオープンしました。診察室、外来化学療法室などが拡張され、外来診療機能が充実されました。当科は、外来棟3Fで診察させていただきます。地域医療を担う先生方と共に歩むスタートになればと思います。

今後の目標

乳房再建治療のできる乳腺外科医が、検診～診断～治療～再建～術後管理に至るまで全てを担当し、乳房の健康を全力で守ります。私のライフワークは、「乳房変形をきたさない乳癌治療」です。すなわち、乳癌術後の乳房変形を最小限にとどめる乳房温存手術、もしくは乳房再建を見越した乳癌手術を、術前の段階から検討することが最も重要と考えています。乳癌と診断され、将来に不安を感じる方々が多くおられます。手術までの短い期間に乳房変形や乳房再建のことまで考える余裕がないのが現状です。そういった方々へのお手伝いできれば幸いです。